

インド全土封鎖！

JSC 貿易部ニュース インド編

いつもお世話になり誠にありがとうございます。

さて、例年日本では桜や花見といった和やかなニュースが流れるこの季節ですが、今年は新型コロナウイルス関連のニュースばかりです。

インドでは先月 3/25 時点で、感染者 536 人、死者 10 名でしたが、モディ首相が 13 億人の全国民に対して、24 日発表・25 日実施というハイスピードな手法で、4/14 までの 21 日間の外出禁止措置を発表しました。

そして、本当に 25 日から食料品や生活必需品、医療関係以外のあらゆる業種の工場や事務所が閉鎖となりました。

中国に止まらず、欧米をはじめ全世界に広がりを見せ始めた新型コロナウイルスの感染拡大。ここまでのパンデミック状態になると、衛生状態のよくないインドでの感染拡大はさすがにマズいということで、インド政府としても急遽対策をとったのだと思います。



インドの取引先から送ってもらった映像ですが、外出禁止措置を徹底するために、外出した人に対しこのように地面に寝かせ警官が棒で殴りつけるようなこともあったようです。

さすがにこのやり方には批判も出ているようですが…



中にはもう少し柔らかく、でも外出禁止をわからせるために外出者に腕立て伏せやヒンズースクワットをさせて罰しているような警官もいるようです。また、こちらの方がいいですね！
インドでは、「ヒンズースクワット」とは言わないようですが… (^_^;



墓石工場のあるチェンナイ市内では、このようにマスクをつけたゾウの像(?)を使って市民にマスクをつけるよう啓蒙していたそうです。

3月上旬までは「安全」と思われていたインドでも新型コロナウイルスの影響が大きく出始めました。

3月26日、インド財務相が記者会見した記事を見ると、総額で1兆7000億ルピー（日本円で約2兆4000億円規模）の経済対策を検討しているようです。今後3ヶ月間、8億人を対象に毎月お米か小麦を5キロ、豆を1キロ支給し、農家や高齢者、障害者などを対象に、現金給付や無担保融資等も計画しているようです。

この記事を読んで、3カ月先を見越した対策が打たれるようなら、21日間での外出禁止解除の可能性は低い…

残念ながら長期戦になる可能性もあるなあ～と感じたところです。やっと丁場が再開されたところなのに…

公式発表の外出禁止措置の期限(4/14)以降、はたしてインド政府がどのような対応をとるのかわかりませんが、3/29時点のインドの感染者数を見てみると963名で死者が24名と、欧米と比較すると少ないものの感染者は増えてきております。

もし、さらに外出禁止期間が延びると、インド経済や日本経済、そして世界経済に与える影響はとて大きなものがあります。

残念ながら、もちろん当社の協力工場も停止となってしまいました…

工場はと言うと、いつまで続くか分からない外出禁止に「備えあれば憂い無し」と食材を大量に買い込んでいたようです…



さて本日の本題でございます。

今回のインドの「全土封鎖」、やがて私たち日本の石材業界にも大きな影響を与える可能性があります。現在インドでは、石材工場だけではなく丁場も操業を停止しております。また、丁場から港までの道路も封鎖されており港湾作業や通関作業も停止しております。

当然、インドから日本への製品や原石の輸出も停止しております。そして、なによりインドから中国への原石の供給も同様に止まっているということです。旧正月前から今日に至るまで中国へのインド産原石の供給は止まったままです。

4/14 以降、採掘が正常に行えるかどうか現時点では不明です。仮に 4/14 以降、外出禁止処置が解除されたとしても、採掘、原石整形、検品、輸送、通関、海上輸送、そして中国での通関の時間などを考慮すると、スムーズにいても新たな原石が中国工場に入るのは 7 月頃といったようなスケジュール感です。

これが 4/14 以降も採掘ができない状態が続くとどうなるか？

このまま新型コロナウイルスの影響でインドの全面封鎖が続き、中国への原石供給が滞る事態となったら…

石種によっては中国の工場からインド産原石の在庫がなくなる？？

私たちの調べでは、インド産のメインどころであるアーバングレー、M10、M13 の原石は比較的在庫量も多く、年内くらいはなんとか原石在庫も持ちそうです！？

しかし油断は出来ません。工場によっては 6 月には使い終わるという工場もございます。その他のインド産原石に関しましても、早ければ 6 月、7 月に使い終わる石種もいくつもあります。

このまま原石が入ってこない状態が続くとやがてなくなる… でも、その前に在庫原石の価格が高騰し「高すぎて使えなくなる」という状態になるかも？？

日本国内におきましても、新型コロナウイルスの影響で消費が落ち込んできておりますが、インドの石の製品に関しては、お早めの検討が大事ではないかと思う次第です。

各石種の見通しについては貿易部の方で簡単にまとめております。気になる石種がございましたら弊社の営業担当にお尋ね下さい。

では、今回も最後までお読み頂き有難う御座いました。日本におきましても「長期戦」と言う言葉も聞きます。どうか皆様、くれぐれもご自愛くださいませ。

2020/04/01